4-123-656-02(1)

SONY

BRAVIA

液晶ディスプレイを壁にかけて使用する場合の設置方法はこの取扱説明書に記載されています。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話･PHS･一部のIP電話…0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話…0466-31-2531
※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「200」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389　**受付時間** 月～金：9:00～20:00　土･日･祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

この説明書は、古紙70％以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

液晶ディスプレイ　取扱説明書

KLV-40ZX1M

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

液晶ディスプレイは正しく使用すれば、事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、内部には電圧の高い部分があるので、間違った使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあり、危険です。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

2～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。31 ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

お買い上げ時とその後 1 年に 1 度は「安全点検チェックリスト」（32 ページ）に従って点検してください。
1 年に 1 度は内部の掃除を、5 年に 1 度は点検をお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。（有料）
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。
湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。
また、本機の通風孔付近にほこりが付着するときがありますが、付着がひどい場合、故障の原因となることがあります。掃除機などで 1 か月に 1 度、ほこりを吸い取ることをおすすめします。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店、またはソニーご相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たり、こげくさいにおいがしたら
- 液晶ディスプレイを見ているときや、スタンバイ状態（画面が消えていて、本体のスタンバイランプが赤色に点灯中）のときに、液晶ディスプレイ内部から異常な音がしたら
- 内部に水などが入ったら
- 内部に異物が入ったら
- 液晶ディスプレイを落としたり、キャビネットを破損したりしたときは

❶電源を切る
❷電源プラグをコンセントから抜く
❸お買い上げ店またはソニーご相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災
感電
注意

行為を禁止する記号

禁止
分解禁止
ぬれ手禁止
風呂・シャワー室での使用禁止
接触禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

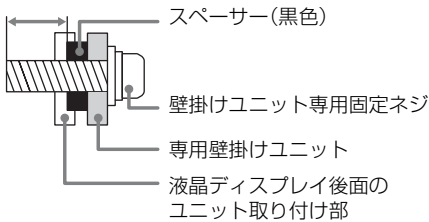
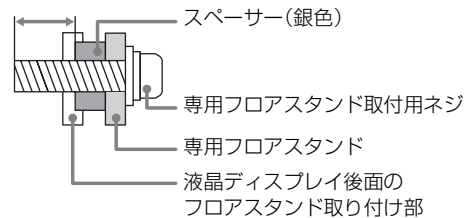
下記の注意を守らないと**火災・感電・破裂**により**死亡や大けが**などの人身事故が生じます。

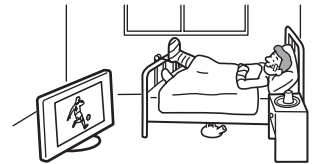
壁に取り付ける場合は、必ず専用の壁掛けユニットを使用し、専門の業者に取り付けてもらう。また、設置の時は設置関係者以外近づかない

専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、液晶ディスプレイが落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

次のことを守って、スタンドや壁掛けユニットに液晶ディスプレイを設置する

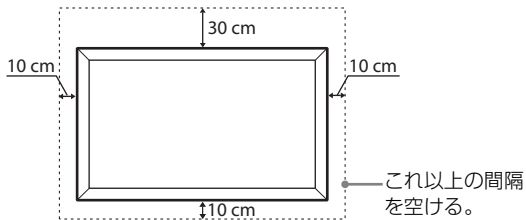
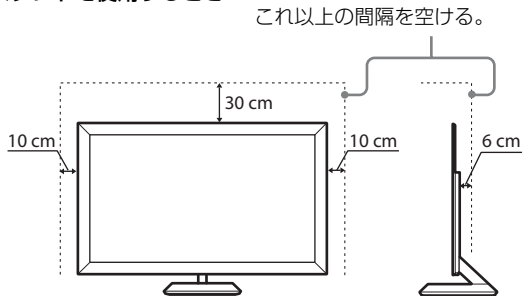
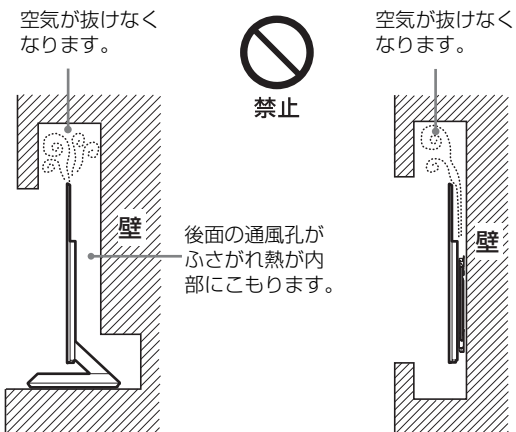
誤った取り付け方法で設置すると、液晶ディスプレイが落下し、大けがをすることがあります。

- 壁掛けユニットの取扱説明書の取り付け方法を必ず守る。
- 転倒防止の処置を必ず行う。転倒防止の処置をしないと、液晶ディスプレイが倒れてけがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などとの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。
- 壁掛けユニットの取り付けに際しては、壁掛けユニットに同梱されている専用固定ネジをご使用ください。専用固定ネジは、取付金具の取り付け面からの長さが、8 ～ 12mm に設定されています（壁掛けユニットによってネジ径やネジの長さは異なります）。専用固定ネジ以外のネジを使用すると、落下や液晶ディスプレイ内部の破損の原因になります。

本機を医療機関に設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

下記の注意を守らないと**火災・感電**により
死亡や**大けが**の原因となります。

周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けないで設置すると、通風孔がふさがり熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。
本機を壁に近づけすぎると、壁などにほこりが付着し、黒くなることがあります。
風通しをよくするために、壁から距離を離して置いてください。

壁に取り付けるとき

スタンドを使用するとき

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

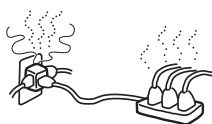
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 密閉された棚や押入の中に置かない。
- ホットカーペットの上に置かない。
- 布をかけない。
- 壁や家具に密着して置かない。また毛足の長い絨毯や布団などの上に置かない。

禁止

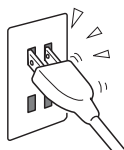
電源（コード、プラグ）

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100V（50/60Hz）以外では使用しない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により、火災の原因となります。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。

禁止

電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続したりすると、感電の原因になることがあります。
他機器との接続が終わった後に、電源プラグを壁のコンセントに差してください。

電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜く

壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。抜くときは必ずコードでなくプラグを持って抜いてください。

電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

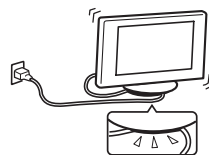
お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店またはソニーご相談窓口に交換をご依頼ください。

禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

（次のページにつづく）

使用

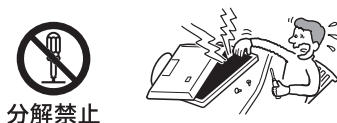
本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない 本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。

移動、設置

正しい方法で運搬 / 移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。
本機を持ち運ぶ際には、9 ページをご参照の上、正しい方法で行ってください。

使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

不安定な場所に置かない

本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
平らで充分に強度があり、落下しない所に置いてください。

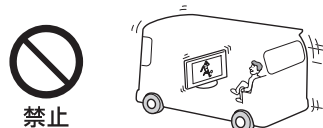
水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用には特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。
銭湯や温泉の脱衣所などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより、硫化したり、高い湿度で本機が故障したりすることがあります。

乗物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。
塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。

屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

液晶ディスプレイの表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで液晶ディスプレイに触れない

電源プラグをコンセントから抜かずに液晶ディスプレイに触れると、感電の原因となることがあります。

接触禁止

目や口に液晶を入れない／ガラスの破片に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶（液状）が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをするおそれがあります。
また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。においを嗅ぐこともやめてください。誤って、目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。蛍光管の種類によっては、水銀が含まれる場合があります。

禁止

⚠注意 下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。
本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。
完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。
コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。

プラグをコンセントから抜く

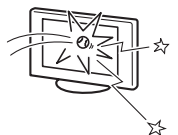
人が通行するような場所に置かない
コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。

禁止

液晶画面の表面に物をぶつけない

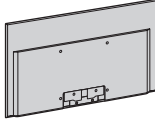
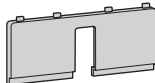
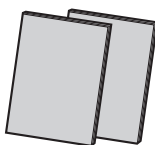
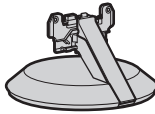
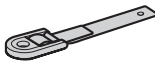
ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。

禁止

音量について

周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。

本機の温度について

液晶ディスプレイを長時間使用したときなどに、パネル周辺部分が熱くなり、手で触れると熱く感じることがあります。

目次

付属品を確かめる

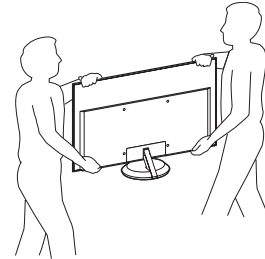
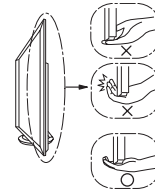
付属品
• 液晶ディスプレイ（1 個）
• 電源コード（2m）（1 本）
• 端子カバー（1 個）
• スペーサー（黒色）（4 個） • スペーサー（銀色）（4 個） • フロアスタンド取付用ネジ（M6 × 20mm）（4 個）
• 取扱説明書 • 保証書 （各 1 部）

テーブルトップスタンドをセットでご購入の場合、以下の付属品も同梱されます。

付属品
• テーブルトップスタンド（1 個）
• スタンド取付用ネジ（M5 × 8mm）（4 個）
• 転倒防止取付アダプター（1 個）
• 転倒防止用ベルト（1 本） • 取付用ネジ（M6 × 18mm）（1 本） • 木ネジ（M3.8 × 20mm）（1 本）

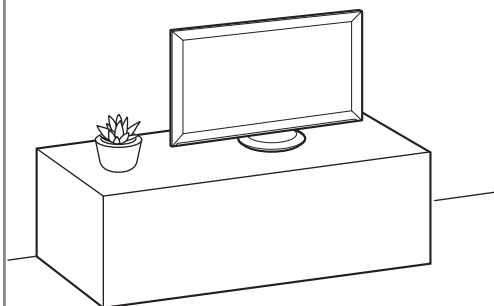
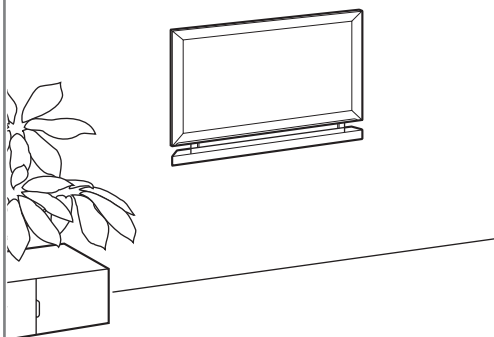
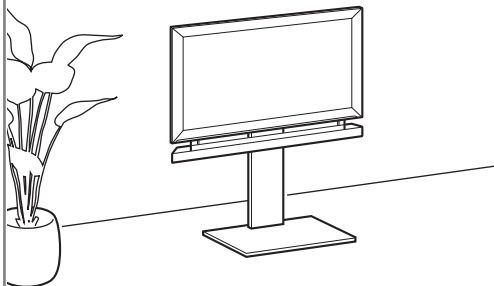
持ち運びかた

正しい方法で運搬／移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、液晶ディスプレイが落下し、打撲や骨折をしたり、大けがや故障をすることがあります。
大型テレビは重いので、開梱や持ち運びは必ず 2 人以上で行ってください。
液晶ディスプレイの底面を持つときは、イラストのようにしっかりと持ってください。

運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。
特に、液晶画面を押さえたり、強い力が加わるような持ちかたをしないでください。

本体前面を強く握らずに、下部を支える。

本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどをすべてはずしてください。
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
修理や引越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。

1. 設置する

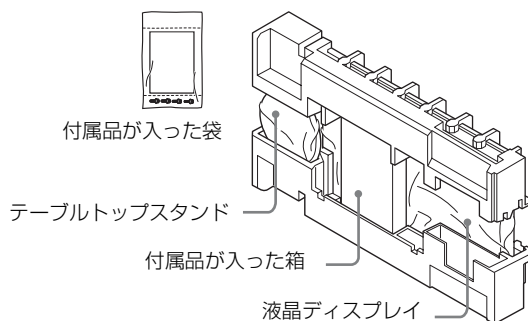
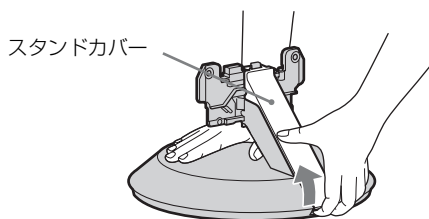
本機は、別売りの壁掛けユニットやフロアスタンドなどに対応しています（2008 年 10 月現在）。
使いかたに合わせて、それぞれの設置のしかたをご覧になり、正しい手順で設置してください。

スタンドの付けかた

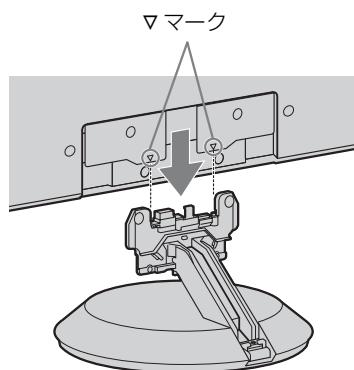
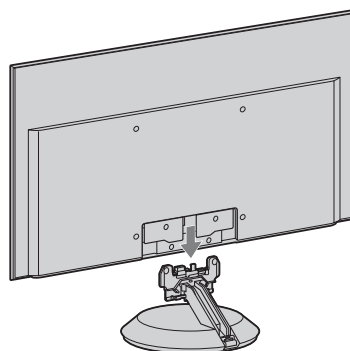
液晶ディスプレイに付属のテーブルトップスタンドを取り付けます。
取り付ける前に、付属のネジに合ったドライバーをご用意ください。

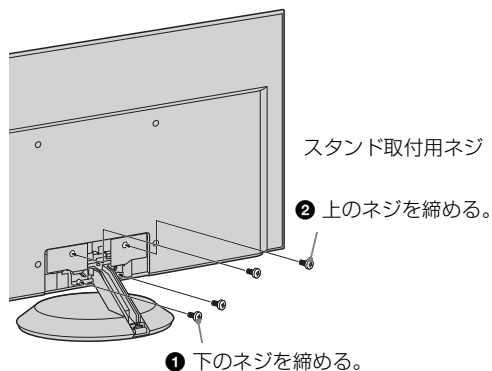
ご注意

- プレートをとめている青テープは、スタンドの取り付けが終わるまではがさないでください。

1 テーブルトップスタンドと、その他の付属品が入った箱と袋を取り出す。

スタンド取付用ネジが入った袋は、液晶ディスプレイの後面に貼り付けてあります。
安全のため、必ず付属のネジをご使用ください。

2 付属のテーブルトップスタンドのスタンドカバーをはずす。

3 液晶ディスプレイをテーブルトップスタンドに差し込む。

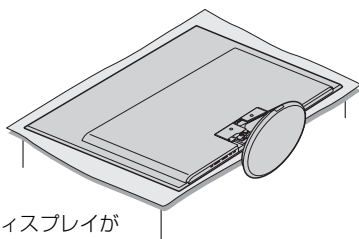
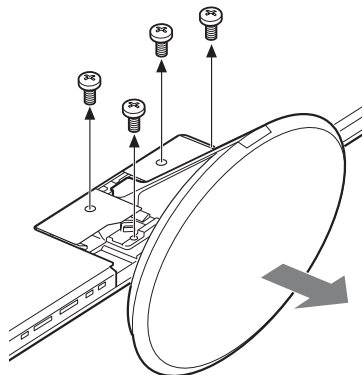
プレートの ▽ マークに合わせて、液晶ディスプレイをスタンドの先端部に押し付けながら差し込んでください。必ず 2 人以上で行ってください。

4 液晶ディスプレイとスタンドを付属のスタンド取付用ネジ 4 本で固定する。

液晶ディスプレイの下側のネジを先に締めてください。

ご注意

- 電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約 1.5N・m｛15kgf・cm｝に設定してください。

スタンドのはずしかた

液晶ディスプレイを壁にかけるときや別売りのフロアスタンドを使うときは、スタンドをはずしてください。

1 画面を下にして液晶ディスプレイを置く。
液晶ディスプレイより広い台の上に、液晶ディスプレイが包装されていた袋などを敷き、スタンド部分が台からはみ出るように液晶ディスプレイを載せてください。必ず 2 人以上で行ってください。

2 スタンド取付用ネジ 4 本をはずす。

ご注意

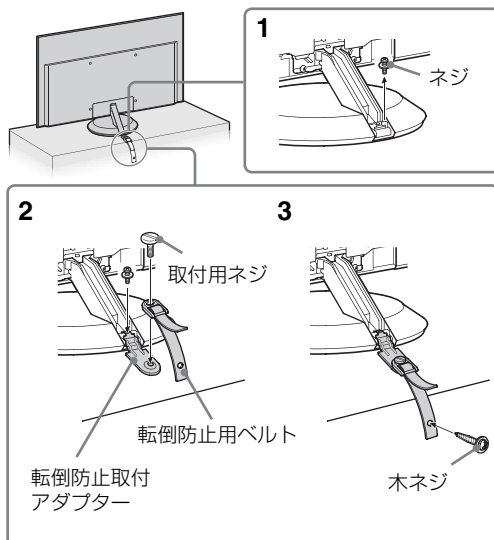
- とりはずしたスタンドのネジは、壁掛けユニットやフロアスタンドの取り付けに使用しないでください。
- 液晶ディスプレイを持ち運ぶときは、下に敷いた包装袋などでディスプレイを覆ったまま移動してください。
- 画面に直接負荷や衝撃がかかると破損したり、傷がつく危険性があります。
- スタンドは両手でしっかり持つようにしてください。

液晶ディスプレイの転倒防止処置をする

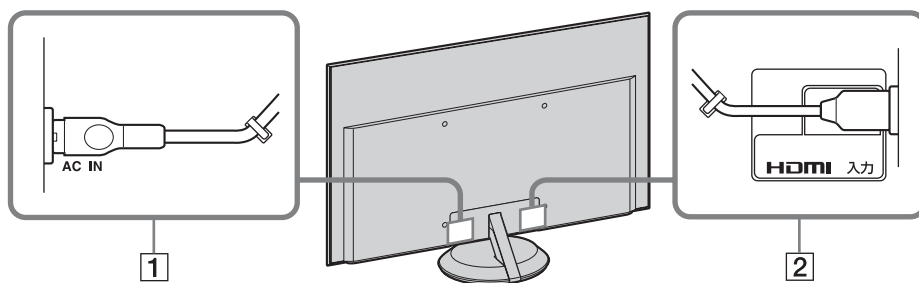
スタンドとテレビ台などに付属の転倒防止取付アダプターと転倒防止用ベルトを取り付けて、液晶ディスプレイが転倒しないようにします。

1 テーブルトップスタンドのネジをはずす。

2 付属の転倒防止取付アダプターをスタンドに取り付け、次に転倒防止用ベルトを取り付ける。

3 転倒防止用ベルトをテレビ台に留める。
ベルトが緩まないよう、手前に引いて長さを調節してください。

壁に掛けるとき

液晶ディスプレイを壁に掛けて使用するときは、必ず下記の別売りの壁掛けユニットをご使用ください。
SU-WL700（2008 年 10 月現在）
詳しくは、壁掛けユニットの取扱説明書や本書の「別売りアクセサリーについて」（21 ページ）をご覧になり、正しい手順で作業してください。壁掛けユニットの取り付けは、お買い上げ店や工事店にご依頼ください。

2. 接続端子

ご注意

- 付属の電源コードを正しく奥まで差し込むと、上図の 1 のような状態になります。
- 本機は、入力した映像信号を 1920 pixel × 1080 line の解像度で表示します。

端子		接続のしかた
1	電源入力 AC100V 端子	付属の電源コードを使い、コンセントにつなぎます。
2	HDMI 入力端子	DVD プレーヤーや AV アンプ、パソコンの HDMI 出力端子につなぎます。デジタル映像・音声信号を入力します。 **ご注意** • ソニー製の High Speed HDMI ケーブルをご使用ください。（推奨：DLC-HD シリーズ 2008 年 10 月現在）他の HDMI ケーブルを接続すると、不具合が起こる場合があります。

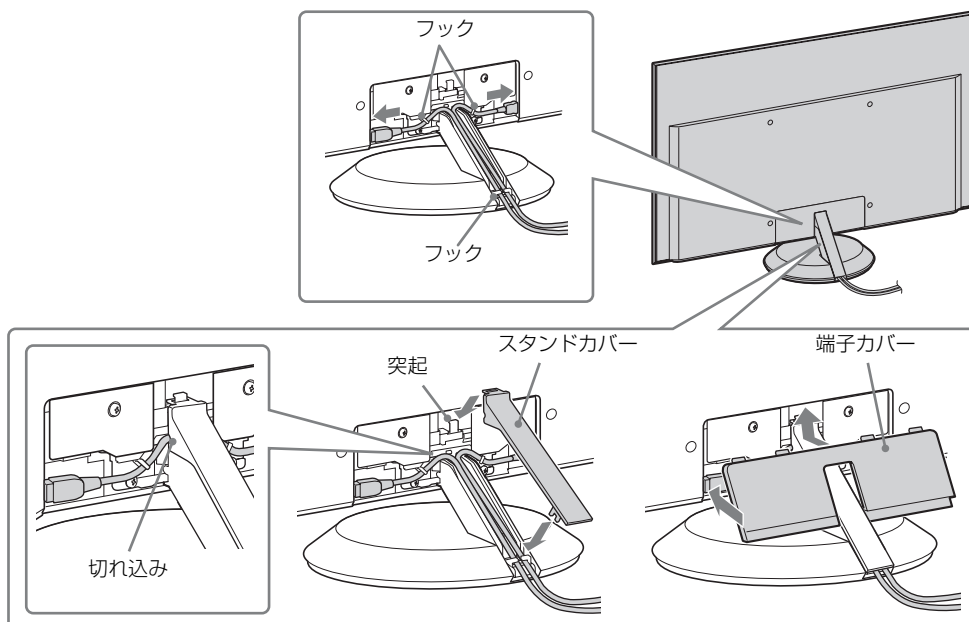
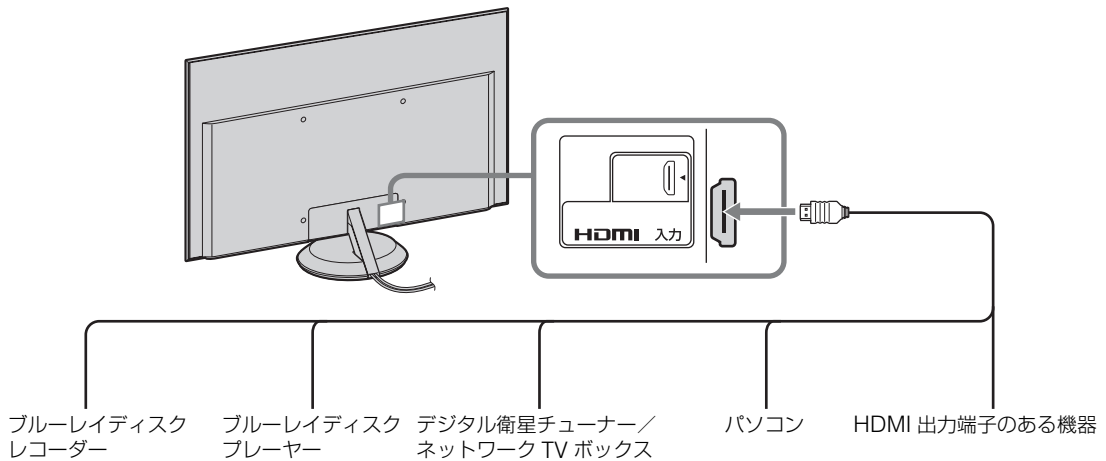
電源コードと HDMI ケーブルをつなぐ

1 **付属の電源コードとお手持ちの HDMI ケーブルを接続し、本機後面のフックに固定します。次に、テーブルトップスタンドの中のフックに、コードを固定します。**

2 **テーブルトップスタンドの突起にスタンドカバーをさしてから、「カチッ」という音がするまで押し込みます。**

ご注意

- 電源コードと HDMI ケーブルを挟まないよう、スタンドカバーにある切れ込みにコードを通してください。

3 **付属の端子カバーを本機に取り付けます。**

3. 他機器をつなぐ

ご注意

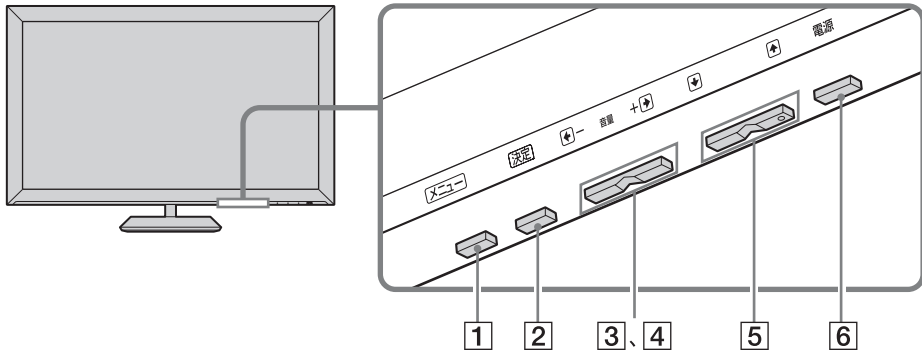
- 一部のデジタル放送の視聴には、加入申し込みが必要です。詳しくは、デジタル放送局や、サービス会社へお問い合わせください。

PC 入力対応信号表

解像度				水平周波数[kHz]	垂直周波数[Hz]	VESA 規格
対応信号	水平[pixel]	×	垂直[line]			
VGA	640	×	480	31.5	60	–
SVGA	800	×	600	37.9	60	○
XGA	1024	×	768	48.4	60	○
WXGA	1280	×	768	47.4	60	○
	1280	×	768	47.8	60	○
	1360	×	768	47.7	60	○
SXGA	1280	×	1024	64.0	60	○
HDTV	1920	×	1080	67.5	60	–

ご注意

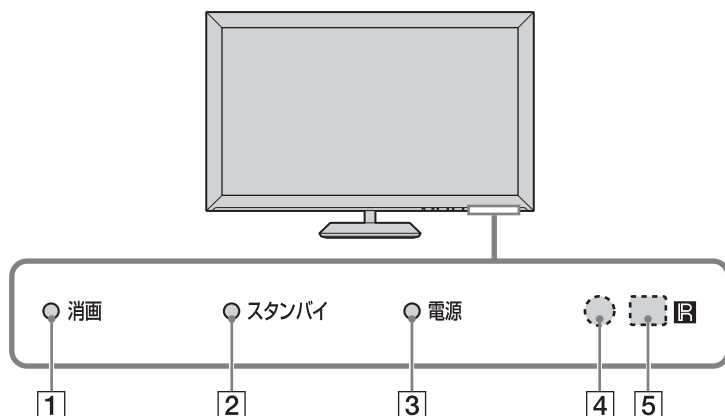
- PC 入力対応信号表以外の信号を入力した場合、正しく表示されなかったり、各種設定ができなかったりすることがあります。
- 本機は垂直周波数が 60Hz の入力信号を推奨しています。
- 接続状況によっては、映像がにじんだりぼやけたりして、正しく表示されないことがあります。その場合、パソコンの設定を変更して PC 入力対応信号表にある他の入力信号を選んでください。
- ご使用のパソコンによっては、1920 pixel × 1080 line/60Hz 出力が選べないものがあります。また、1920 pixel × 1080line/60Hz 出力が選べる場合でも、本機で動作確認されている 1920 pixel × 1080 line/60Hz とは異なる信号が出力されるものがあります。これらの場合、パソコンの設定を変更して PC 入力対応信号表にある他の入力信号を選んでください。

本体のボタン

画面下部にあるボタンを使って、本機を操作します。また、お手持ちのリモコンでも本機を操作することができます（一部機器を除く）。

ご注意

- ⬆ ボタンの上には、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。
- 電源スイッチ以外のどれかのボタンを押すと、ボタン名称が点灯しますので、その後、ボタン操作を行ってください。ボタン名称表示中のみ操作できます。

ボタン	ボタン説明
1 **メニュー**	メニューを表示します。メニューから本機の様々な設定を変更できます。
2 **決定**	⬆ ⬇ ⬅ ➡ で選んだ項目を決定します。
3 ⬅ ➡	メニューの項目を選んだり、カーソルを左右に移動します。
4 **音量** +/–	音量を調節します。
5 ⬆ ⬇	メニューの項目を選んだり、カーソルを上下に移動します。
6 **電源スイッチ**	液晶ディスプレイの主電源を入／切します。

本機前面のランプ

ランプ／センサー	ランプ／センサー説明
1 消画	消画中は緑色に点灯します（20 ページ）。
2 スタンバイ	電源スタンバイ中は赤色に点灯します。
3 電源	電源が入っているときは緑色に点灯します。
4 明るさセンサー	周囲の明るさに合わせて、自動的に画面の明るさを調整します。明るさセンサーの前には物を置かないでください。
5 リモコン受光部	リモコンからの赤外線信号を受信します。リモコン受光部の前には物を置かないでください。

▶ さまざまな設定／調整をする

1 メニューボタンを押し、メニューを画面に表示する。

2 ⬆ ⬇ ボタンで設定したい項目を選んで、決定ボタンを押す。

3 画面のメッセージに従い、設定を変更する。

4 メニューボタンを押し、設定の変更を終了する。

画質・映像設定

画質	画質モード	ダイナミック	映像の輪郭とコントラストを重視した鮮やかな映像になります。
		フォト - ダイナミック *	フォト専用に映像の輪郭、コントラスト、色を重視した鮮やかな映像になります。
		スタンダード	ご家庭でのご使用に合わせ、自然さを重視した標準的な映像になります。通常は[スタンダード]がおすすめです。
		フォト - スタンダード *	フォト専用に自然さを重視した標準的な映像になります。
		シネマ	映画表現に適した画質に調整した映像になります。
		フォト - オリジナル *	フォト専用に温かみのある映像になります。
		カスタム	オリジナルの映像をお好みに合わせて細かく調整します。
		フォト - カスタム *	フォト専用にオリジナルの映像をお好みに合わせて細かく調整できます。
		* ［ビデオ・フォト切換］で［フォト］に設定した場合と、［ビデオ -A］に設定しフォト（静止画）を表示しているときに、この項目が選べます。	
	標準に戻す	[画質]の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。	
	バックライト	調整バーを左に動かすと画面が暗くなり、右に動かすと明るくなります。	
	ピクチャー	調整バーを左に動かすと明暗の差が小さくなり、右に動かすと大きくなります。	
	明るさ	調整バーを左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。	
	色の濃さ	調整バーを左に動かすと色が薄くなり、右に動かすと濃くなります。	
	色あい	調整バーを左に動かすと色あいが赤みがかり、右に動かすと緑がかります。	
	色温度	高／中／低 1 ／低 2	高い温度ほど青みがかった色調になり、低い温度ほど赤みがかった色調になります。
		ご注意 • ［低 1］と［低 2］は［画質モード］で［ダイナミック］、［フォト - ダイナミック］以外を選んだときのみ設定できます。	
	シャープネス	調整バーを左に動かすと映像の輪郭が柔らかくなり、右に動かすとはっきりとします。	

（次のページにつづく）

ノイズリダクション			ノイズの多さに応じて、強さを選び、映像のざらつきや色ノイズを軽減できます。
MPEG ノイズリダクション			デジタル特有のモスキートノイズやブロックノイズを低減できます。
詳細設定			［画質モード］で［ダイナミック］、［フォト - ダイナミック］以外を選ぶと設定できます。
	標準に戻す		［詳細設定］の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
	黒補正		お好みに合わせて、黒を強調してコントラストを強くできます。
	アドバンスト C.E.		映像の明るさを判別し、コントラストを自動で調整します。特に、黒つぶれしやすい暗いシーンで効果があり、細部まで表現力豊かに再現します。
	ガンマ補正		お好みに合わせて、映像の明暗のバランスを調整できます。
	クリアホワイト		お好みに合わせて、白の鮮明さを強調できます。
	カラースペース	**スタンダード**	標準的な色を再現します。
		ワイド	バックライトの特性を活かした、より鮮やかな色を再現します。
	ライブカラー		お好みに合わせて、色の鮮やかさを強調できます。
	色温度調整		色温度を色ごとに細かく調整したり、お買い上げ時の設定に戻したりします。

ご注意

- PC 入力のときに、［画質・映像設定］のいくつかの項目は選べません。

モーションエンハンサー		動きを滑らかにして映像の残像感を減らす機能です。
	強	映画などの映像で、動きがより滑らかになります。
	標準	映像の動きが滑らかになります。通常は［標準］のままお使いください。
	切	［強］や［標準］にしていてノイズが気になるときは［切］を選んでください。

ご注意

- 映像によっては切り換えても効果がわかりづらい場合があります。
- ［CG ゲームモード］が［入］のときに、この項目は選べません。

シネマドライブ		映画などのフィルム映像を自動検出して、なめらかな動きで再生する機能です。
	オート 1	映画などのフィルム映像が、原画より滑らかな動きになります。通常は［オート 1］のままお使いください。
	オート 2	映画などのフィルム映像を、より原画に忠実な映像に再現します。
	切	［オート 1］または［オート 2］にしていて、輪郭がギザギザして見えるときは［切］を選んでください。
CG ゲームモード		映像や音声がずれるのが気になるときや、ゲーム映像のときは［入］を選んでください。
ビデオ・フォト切換		ビデオ（動画）かフォト（静止画）のどちらかに、画質を最適化する機能です。1080i/p（1080/24p を除く）の入力信号フォーマットにのみ機能します。
	ビデオ -A	ビデオ -A モード対応のソニー製 HDMI 端子付き機器をつないだ場合、ビデオ（動画）またはフォト（静止画）を自動判別し、それぞれに適した画質になります。
	ビデオ	ビデオ（動画）に適した画質になります。
	フォト	フォト（静止画）に適した画質になります。

ご注意

- ［シアターモード］で［入］を選んでいるときに、［CG ゲームモード］と［ビデオ・フォト切換］は選べません。

音質

音質モード	**ダイナミック**	重低音を響かせながら、高音も通るように、明瞭感あふれるメリハリのきいた音質になります。
	スタンダード	オリジナルの音源を活かし、全音域がバランスよく自然に広がっていく音質になります。
	クリアボイス	話しことばが聞き取りやすく、長時間聞いても耳にやさしい音質になります。
標準に戻す	[音質]の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。	
高音	調整バーを左に動かすと高音部分が弱くなり、右に動かすと強くなります。	
低音	調整バーを左に動かすと低音部分が弱くなり、右に動かすと強くなります。	
バランス	調整バーを左に動かすと左側の音が大きくなり、右に動かすと右側の音が大きくなります。	
サラウンド	S-FORCE Front Surround	本機のスピーカーだけで、つないだ機器の音声を臨場感のある立体的な音場で楽しむことができます。
	切	通常のステレオ音声や、モノラル音声を聞く場合は[切]を選んでください。
ボイスズーム	セリフなどが聞き取りにくいときに調整します。 調整バーを左に動かすと人の声が小さくなり、右に動かすと大きくなります。	
サウンドブースター	お好みに合わせて、高低音域を強調して立体感あふれる音声に調整できます。 [音質モード]で[スタンダード]を選んだときのみ設定できます。	
自動音量調整	[入]を選ぶと、入力信号の音量変化に合わせて、音量を自動補正します。	
音量レベル	現在つないでいる接続機器の音量を、他の入力と比較して調整します。	

画面モード

ワイド切換	**ワイドズーム**	入力している画像を適正に拡大し、画面いっぱいに表示します。
	ノーマル	4:3 の画像を入力している場合、横縦比率を変えずにそのまま表示します。
	フル	4:3 の画像を入力している場合、左右に拡大して画面いっぱいに表示します。 16:9 の画像(デジタルハイビジョン信号)を入力しているときは、横縦比率を変えずにそのまま表示します。
	ズーム	入力している画像の横縦比率を保ったまま全体に拡大し、画面いっぱいに表示します。
オートワイド	**入**	画像を検出して、最適な画面モードに自動で切り換えます。
	切	画面モードを固定します。[ワイド切換]から、お好みの画面モードを選んでください。
4:3 映像	**ワイドズーム**	4:3 の画像を適正に拡大し、画面いっぱいに表示します。
	ノーマル	4:3 の画像を横縦比率を変えずにそのまま表示します。
	切	番組や入力信号が変わっても、現在の画面モードのまま表示します。
	ご注意 • [オートワイド] が [切] のときは、[4:3 映像] は選べません。 • [4:3 映像] が [切] 以外のときは、[ワイド切換] の設定は現在の番組や入力信号でのみ有効になります。4:3 の画像を入力する場合、[ワイド切換] の設定は、[4:3 映像] の設定へ自動的に切り替わります。	
表示領域	**フルピクセル**	1080i、1080p、1080/24p の信号を入力していて、[ワイド切換]が[フル]に設定されているときに、オリジナルの映像領域で表示します。
	標準	入力している信号の、オリジナルの映像領域で表示します。
	-1/-2	画面周辺の欠けを消すように、映像領域を拡大します。
横位置調整	画面の位置を左右に調整できます。	
縦位置調整	画面の位置を上下に調整できます。	
縦サイズ	画面のサイズを上下に調整できます。	

ご注意

- パソコンをつないだ場合、いくつかの設定は変更できません。
- [横位置調整]、[縦位置調整] および [縦サイズ] は、入力している信号によっては設定できないことがあります。

HDMI 機器制御設定

本機の HDMI 入力につないだ他のソニー製機器を、HDMI 機器制御を使い連動して操作することができます。
HDMI 機器制御について、詳しくは 28 ページをご覧ください。

HDMI 機器制御	HDMI 機器制御に対応した機器をつないでいるときに、HDMI 機器制御を有効にするかどうかを選びます。
モニター → HDMI 機器電源連動	［する］を選ぶと、本機の電源を切るときに、つないでいる HDMI 機器の電源も連動して切ります。［HDMI 機器制御］で［する］を選んでいるときに、この項目が選べます。
HDMI 機器 → モニター電源連動	［する］を選ぶと、つないでいる HDMI 機器の電源を入れたり、再生などの操作をしたりするときに、本機の電源も連動して入ります。［HDMI 機器制御］で［する］を選んでいるときに、この項目が選べます。
HDMI 機器一覧の更新	HDMI 機器の一覧を作成、または更新します。本機につないでいる HDMI 機器を変えたり、HDMI 機器の設定を変更した場合は、必ず一覧を更新してください。
HDMI 機器一覧	本機の HDMI 入力につないだ HDMI 機器を一覧表示します。

ご注意

- 一部の対応機器では［接続機器操作］機能に対応していません。

モニター設定

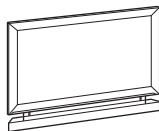
消費電力	バックライトの明るさを調整して、消費電力を抑えるようにします。［標準］、［減（明）］、［減（暗）］、［減（消画）］から、お好きな設定をお選びください。 ご注意 • 画面を表示するには、音声切換ボタン、消音ボタン、音量 +/- ボタン以外のボタンを押してください。 ちょっと一言 • 消画にしたままで電源を切ると、次に電源を入れたときは［消費電力］が［標準］に戻ります。
明るさセンサー	周囲の明るさに合わせて自動で画面の明るさを調整します。［画質モード］と［消費電力］の設定によって、明るさセンサーによる効果が異なったり、効果が出にくいことがあります。 ご注意 • 周囲の明るさに合わせて、自動で画面の明るさを調整するように設定します。
モニター情報表示	液晶ディスプレイの機器情報を表示します。
モニター設定初期化	すべての設定項目を、お買い上げ時の設定に戻します。

PC 設定

ワイド切換	**ノーマル**	画像の解像度と横縦比率を変えずに、そのまま表示します。
	フル 1	画像の横縦比率を保ったまま全体に拡大し、画面いっぱいに表示します。
	フル 2	画像を拡大し、画面いっぱいに表示します。オリジナル画像から、横縦比率は変わります。
標準に戻す	［PC 設定］をお買い上げ時の設定に戻します。	
水平位置	画像の水平位置を調整します。	
垂直位置	画像の垂直位置を調整します。	

▶ 別売りアクセサリーについて

本機は以下の壁掛けユニットなどに対応しています（2008 年 10 月現在）。
壁掛けユニットなどは確実な取り付けが必要です。必ず専門業者に取り付けを依頼してください。本書とともにお使いのアクセサリーの取扱説明書をよくお読みのうえ、確実な取り付けを行ってください。

壁掛けユニット／スピーカーシステムと使う

壁掛けユニット　SU-WL700
スピーカーシステム　SS-WAL700

取り付け時に本機に付属の部品を使います。
スペーサー（黒色）（4 個）

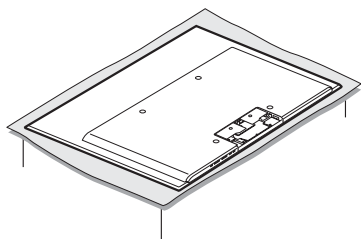
壁掛けユニットを使うときは、液晶ディスプレイからは音声が出力されません。液晶ディスプレイから音声を出力するときは、専用のスピーカーシステム（別売り）を組み合わせてご使用ください。

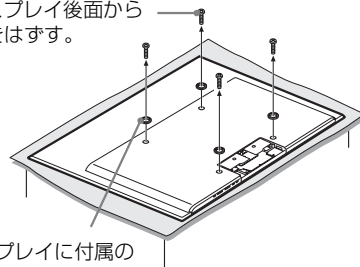
本機との設置について

別売りアクセサリーの取扱説明書にある設置手順に対応して本機では以下の作業が必要です。本書とあわせてアクセサリーの取扱説明書もご覧ください。設定手順のあとに（　）付きの数字が表示されている説明では、別売りアクセサリーの取扱説明書で同じ数字のある説明もご覧ください。

スピーカーシステムをお使いの場合も、はじめに壁掛けユニットの取扱説明書からご覧ください。

1　必要に応じてスタンドをはずす（4-1）。

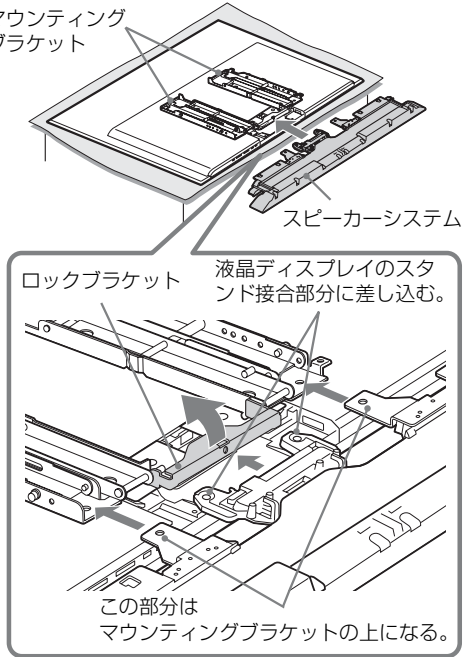
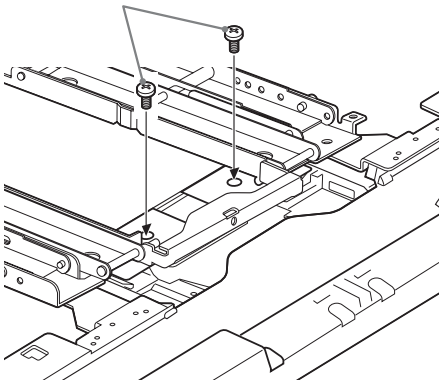
- お買い上げ時の状態では、スタンドは取り付けられていませんので、液晶ディスプレイの画面を下にして置いてください。

- すでにスタンドが取り付けられている場合は、スタンドをはずしてください（「スタンドのはずしかた」12 ページ）。

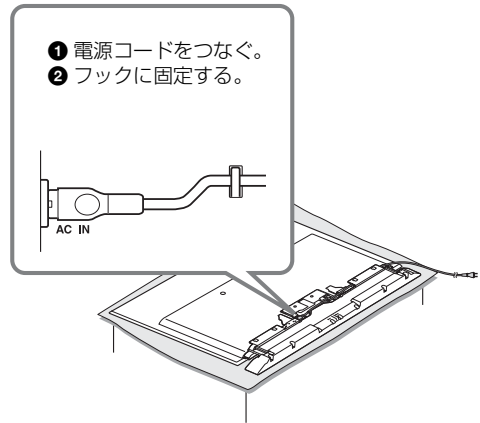
2　スペーサーを置く（4-2）。

3　壁掛けユニットの取扱説明書をご覧になり、手順 4-3 ～ 4-4 を行う。

壁掛けユニットのみをお使いのときは
この取扱説明書の手順 6 に進んでください。
スピーカーシステムをお使いのときは
この取扱説明書の手順 4 に進んでください。

別売りアクセサリーについて

（次のページにつづく）

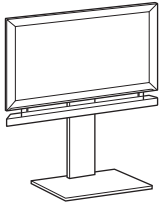
4 **ロックブラケットを持ち上げながら、スピーカーシステムを差し込む（4-5）。**

5 **スピーカーシステムに付属のネジ2本でスピーカーシステムを固定する。**

6 **壁掛けユニットの取扱説明書をご覧になり、手順4-6 ～ 4-7を行う。**

7 **液晶ディスプレイに付属の電源コードや、HDMIケーブル（別売り）をつなぐ（5-1）。**

スピーカーシステムを取り付けたときは
電源コードは2ヶ所のフックに固定したあと、液晶ディスプレイの右端から垂らしてください。
HDMIケーブルは左右どちらかから垂らしてください。

8 **引き続き壁掛けユニットの取扱説明書をご覧になり、本機を壁に取り付けてください。**

ご注意

- 液晶ディスプレイを壁やフロアスタンドに取り付けた後では、ケーブル類をつなぐことはできません。
- 液晶ディスプレイを壁やフロアスタンドに取り付けるときは、液晶ディスプレイの下に敷いた布などといっしょに液晶ディスプレイを持ち上げてください。スピーカー部分を持たないでください。

フロアスタンド／スピーカーシステムと使う

フロアスタンド　SU-FL71M
SU-FL71L
スピーカーシステム　SS-WAL700

取り付け時に本機に付属の部品を使います。

スペーサー（銀色）（2 個）*

フロアスタンド取付用ネジ（M6 × 20mm）（4 本）

* スピーカーシステムを取り付けないときは、4 個使います。

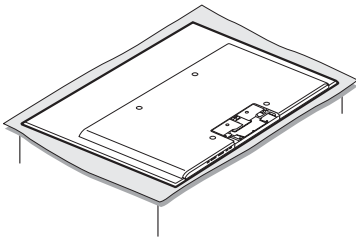
フロアスタンドを使うときは、液晶ディスプレイからは音声が出力されません。液晶ディスプレイから音声を出力するときは、専用のスピーカーシステム（別売り）を組み合わせてご使用ください。

本機との設置について

別売りアクセサリーの取扱説明書にある設置手順に対応して本機では以下の作業が必要です。本書とあわせてアクセサリーの取扱説明書もご覧ください。

スピーカーシステムをお使いの場合も、はじめにフロアスタンドの取扱説明書からご覧ください。フロアスタンドに付属の取扱説明書の「2 テレビの取り付け準備をする」（6 ページ）のかわりに、下記の手順を行ってください。

1　必要に応じてスタンドをはずす。

- お買い上げ時の状態では、スタンドは取り付けられていませんので、液晶ディスプレイの画面を下にして置いてください。

- すでにスタンドが取り付けられている場合は、スタンドをはずしてください（「スタンドのはずしかた」12 ページ）。

2　スペーサーを置く。

スピーカーシステムを取り付けないときは 4ヶ所すべて液晶ディスプレイに付属のスペーサー（銀色）を使ってください。

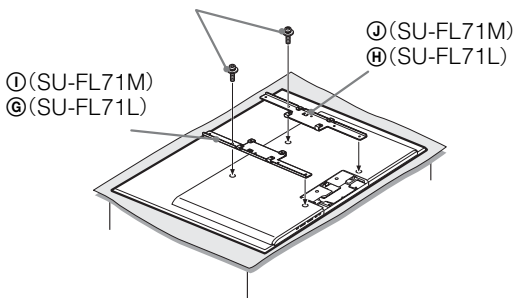
別売りアクセサリーについて

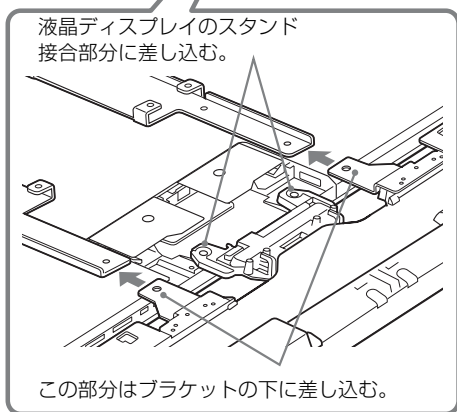
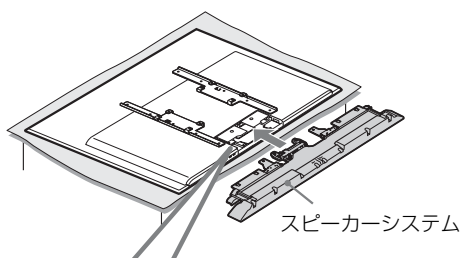
（次のページにつづく）

3 **ブラケットⓘ ⓙ（SU-FL71M）またはブラケットⓖ ⓗ（SU-FL71L）を液晶ディスプレイに取り付ける。**

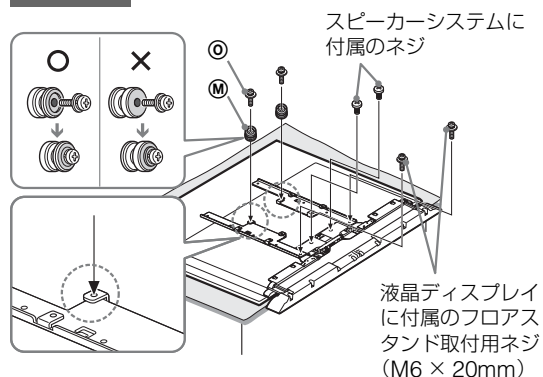
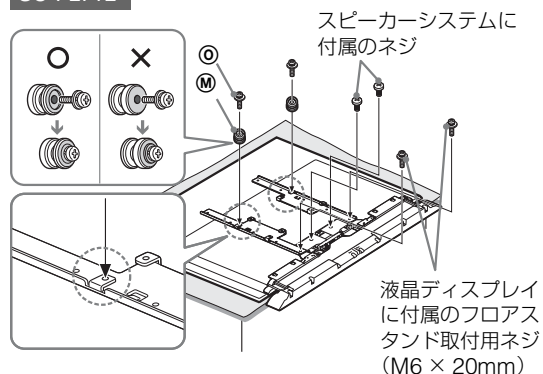
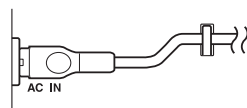
❶手順 2 ではずしたネジ穴に合わせてブラケットを置く。

❷上部の 2ヶ所を液晶ディスプレイに付属のフロアスタンド取付用ネジ（M6 × 20mm）で仮留めする。

スピーカーシステムを取り付けないときは、4ヶ所すべてしっかりネジを締めてください。

フロアスタンドのみのときは、手順 5 に進んでください。

4 **スピーカーシステムを差し込む。**

5 **ネジで固定したあと、フック ⓜ をブラケットに取り付ける。**

手順 3 で仮留めした上部の 2ヶ所のネジもしっかり締めてください。

SU-FL71M

SU-FL71L

6 **液晶ディスプレイに付属の電源コードや、HDMI ケーブル（別売り）をつなぎ、中央から垂らす。**

電源コードが差し込まれている状態。

7 **引き続きフロアスタンドの取扱説明書をご覧になり、設置してください。**

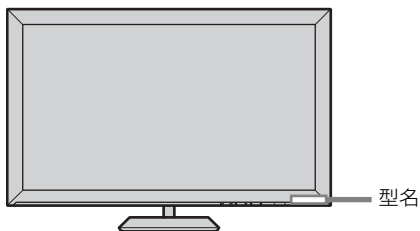
ご注意

- 液晶ディスプレイを壁やフロアスタンドに取り付けた後では、ケーブル類をつなぐことはできません。
- 液晶ディスプレイを壁やフロアスタンドに取り付けるときは、液晶ディスプレイの下に敷いた布などといっしょに液晶ディスプレイを持ち上げてください。スピーカー部分を持たないでください。

修理に出す前に

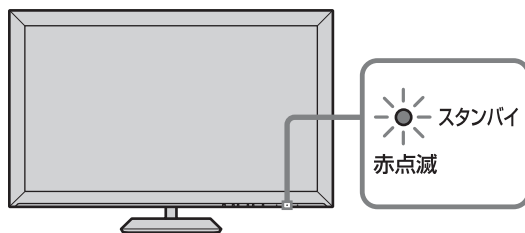
修理に出す前に、もう一度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、裏表紙にあるソニーご相談窓口へお問い合わせください。お問い合わせになるときは次のことをお知らせください。

液晶ディスプレイ

ケーエルブイ　ゼットエックス　エム
KLV-40ZX1M

故障の状況:できるだけくわしく

購入年月日:

自己診断表示ー画面が消え、スタンバイランプが点滅したら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、本機前面のスタンバイランプの点滅およびその速さで本機の状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。本機前面のスタンバイランプが赤く点滅したら、下の手順に従って、裏表紙にあるソニーご相談窓口へお問い合わせください。お問い合わせの内容によっては、修理が必要な場合があります。

1 本機前面のスタンバイランプの点滅回数を数えてください。

2 本体の電源スイッチで主電源を切り、電源コンセントを抜いてから、ソニーご相談窓口に点滅回数をお知らせください。

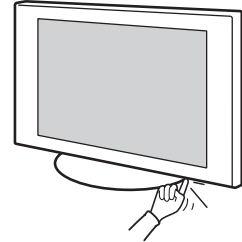
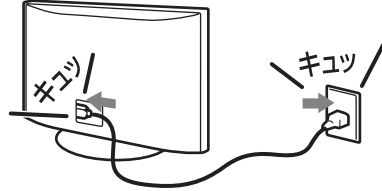
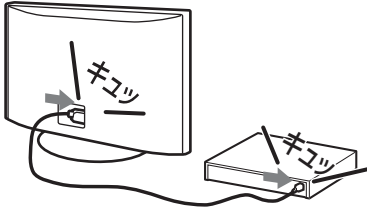
故障かな？と思ったら

インターネットのホームページでもよくあるお問い合わせ「Q&A」を紹介しています。
http://www.sony.co.jp/faq/bravia/

まず確認してください

HDMI ケーブルをしっかりつなぐ。

電源コードをしっかりつなぐ。

本体の電源スイッチを入れる。

こんな場合は故障ではありません

画面に光る点、または光らない点がある。

輝点・滅点

液晶ディスプレイの映像は微細な画素の集合です。
画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。

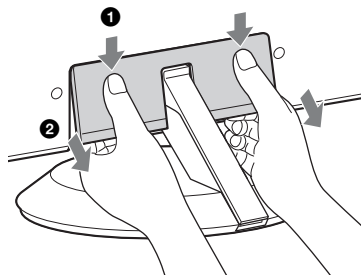
「ピシッ」というきしみ音が出る。

電源を入れているかどうかに関わらず、周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがあります。

電源を入れたときや電源スタンバイ時に「カチッ」と音がする。

電源を入れたときは、内部の回路が働くため音がします。

症状	対処のしかた
映像	
画像が出ない。	• ［消費電力］を確認してください。［減（消画）］に設定されていると画像は出ません。このときは本機前面の消画ランプが緑色に点灯します。
つないだ機器の画像が出ない。	• 接続ケーブルの端子が正しく、しっかり差し込まれているか確認してください（13 ページ）。
店頭で見るより画質がきれいではない。	• 画質は、入力しているオリジナルの映像により異なります。
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。	• ［画質・映像設定］の［画質モード］をお好みに合わせて調整してください（17 ページ）。 • ［消費電力］を確認してください。［減（明）］または［減（暗）］に設定されていると画面が暗くなります（20 ページ）。

症状	対処のしかた
画像が乱れる、色がぼやける。	• 本機を寒い所から暑い所へ運んだり、急に室温を変えると結露が発生し、画像が乱れることがあります。いったん本機の電源を切り、数時間後再び電源を入れてください。 • 本機の近くで携帯電話や電子レンジ、掃除機などを使用すると、映像や音声が一時的に乱れることがあります。 • 画像の輪郭が乱れる場合は［モーションエンハンサー］を［標準］または［切］にするか、［シネマドライブ］を［切］にしてください（18 ページ）。
音声	
画像は出るが、音が出ない。	• 音量が下がりきっていないか確認してください。 • 画面に「消音」の表示が出ているときは、音量＋ボタンを押して表示を消してください（15 ページ）。 • 壁掛けユニットやフロアスタンドを使用しているときは、専用のスピーカーシステムが必要です（21 ページ）。
パソコン接続	
画像が出ない、信号を受信できない。	• 接続ケーブルの端子が、お使いのパソコンと本機に、正しく、しっかり差し込まれているか確認してください。 • パソコンの出力信号が、本機の入力対応信号表にあるか確認してください（14 ページ）。
画像がぼやける。	• 解像度を調整してください。
全般	
画面サイズが勝手に切り換わる。	• [4:3 映像] が［切］以外のときは、［ワイド切換］の設定は、[4:3 映像] の設定へ自動的に切り替わります。 • ［オートワイド］が［入］に設定されていると、映像に適した画面サイズを自動的に判断します（お買い上げ時は［入］に設定されています）。気になるときは［オートワイド］を［切］にしてください。
画面の端に黒い帯が表示される。 	• 16:9 以上の横縦比率で撮影された映画などの映像を本機で表示すると、画面の上下に黒い幕が表示されます。詳しくは、映像ソフトの説明書を確認してください。 • 4:3 の画像を本機で表示すると、画面の左右に黒い帯が表示されます。
暗いシーンや素早い動きの映像が乱れる。	• デジタル圧縮された映像を本機で表示すると、映像の細部が乱れたり黒つぶれしたりする場合があります。
リモコンで本機を操作できない。	• お手持ちのリモコンが本機に対応していない場合があります。 • 本機のボタンを押して、リモコンによる問題かどうか確認してください。 • リモコンの電池を交換してください。 • リモコンの先端部を本機前面のリモコン受光部に向けてください。 • リモコン受光部の前には物を置かないでください。 • 近くに電子レンジや無線機器があるときは、お手持ちのリモコンで操作できないことがあります。
端子カバーがはずれない。	• 図のように端子カバーをおさえてください。❶ をはずし下にさげながら、❷ を斜めに引きさげます。

HDMI 機器制御について

HDMI 機器制御とは

HDMI 機器制御は、HDMI で規格化されている HDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使った機器間相互制御の機能です。ソニーの HDMI 機器制御対応のテレビやハードディスク搭載ブルーレイディスクレコーダー、AV アンプなどを HDMI ケーブルでつなぐと、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。

HDMI 機器制御機能を使うには

- 対応機器それぞれで、正しい接続・設定をする。
- 本機と対応機器の主電源を切らない。
- 本機で、対応機器を接続した HDMI 入力に切り換える。
- 本機で、対応機器の映像が正常に出ることを確認する。

対応機器をつなぐ *

HDMI ケーブルでつなぎます。ソニー製の High Speed HDMI ケーブルをご使用ください。（推奨：DLC − HD シリーズ　2008 年 10 月現在）
市販の HDMI ケーブルの中には、取り付けられないものもありますのでご注意ください。

* HDMI 機器制御機能は、ソニーの HDMI 機器制御対応機器間のみで動作保証をしています。

HDMI 機器制御の設定をする

HDMI 機器制御を使うには、本機とつないだ機器側でそれぞれ設定が必要です。本機側の設定については、20 ページをご覧ください。つないだ機器の設定はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
HDMI 機器制御設定連動に対応しているソニー製機器をつないでいるときは、本機の HDMI 機器制御設定を有効にすると、つないだ機器の HDMI 機器制御設定も有効になります。

HDMI 機器制御でできること

- つないだ機器の電源を本機と連動して切ることができる。
- つないだ機器で再生すれば、本機の電源も連動し入力も自動で切り換わる。
- つないだ機器の操作メニューを表示して、基本的な操作ができる。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。ただし、液晶パネルは 2 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「その他」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはソニーご相談窓口へ

裏表紙にあるソニーご相談窓口へお問い合わせください。
修理のときは、シリアル番号（SER No.）が一致している液晶ディスプレイが必要です。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。
何らかの原因でコンテンツが外部メディアや外部記録機器（“メモリースティック”、デジタルレコーディングハードディスクドライブなど）に記録できなかった場合や、外部メディア・外部記録機器に記録されたコンテンツが破損または消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーご相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名: KLV-40ZX1M

型名について詳しくは、25 ページをご覧ください。

故障の状態:できるだけ詳しく

購入年月日:

液晶ディスプレイのシリアルナンバー、および定格は端子カバーの内側に記載されています。

お買い上げ店

TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

ディスプレイ型番	KLV-40ZX1M
標準システム	
パネルシステム	LCD（Liquid Crystal Display）パネル
使用スピーカー	フルレンジ 3cm 円型 (4)、ウーファー5.8 × 9cm 長円形
音声出力	フルレンジ 実量最大出力：5W ＋ 5W、負荷インピーダンス：8Ω ウーファー 実用最大出力：10W、負荷インピーダンス 4Ω
入出力端子	
HDMI 入力端子	映像：480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p, 1080/24p 音声：PCM（32kHz、44.1kHz、48kHz、16bits、20bits、24bits）
電源部、その他	
使用温度	0 ℃〜 40 ℃
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	
使用時	188 W
待機時	0.18 W
受信機型サイズ	40
パネル解像度	1920 × 1080（ドット：水平×垂直）
最大外形寸法（最大突起部分を除く）（幅×高さ×奥行き）	98.6 × 59.9 × 2.8cm 98.6 × 68.2 × 30.7cm（スタンド含む）
質量	12.1kg 14.9kg（スタンド含む）
付属品	「付属品を確かめる」（9 ページ）をご覧ください。

ご注意

- 本仕様は、標準のテーブルトップスタンドとの組み合わせにて記載しています。お客様の購入の組み合わせにより異なる部分があります。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

2008 年 10 月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

フロアスタンド　SU-FL71M/SU-FL71L
壁掛けユニット　SU-WL700
スピーカーシステム　SS-WAL700

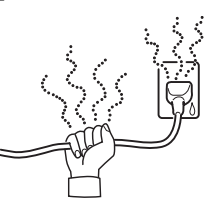
- 「JIS C 61000-3-2 適合品」です。
  JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部：限度値 - 高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

使用上のご注意

液晶画面について

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。屋外や窓際には置かないでください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

液晶画面、外装のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。
- 画面や外装の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。外装の汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でカラぶきしてください。
- アルコールやベンジン、シンナーなどは使わないでください。表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

廃棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。
- 廃棄の際は、家電リサイクル法や、地方自治体の条例などの規則に従ってください。

安全点検チェックリスト

安全点検項目

❶	布やテーブルクロスなどで **通風孔をふさいで**いませんか	**設置場所と設置方法**
❷	**水気、油気、湿気、ほこりの多いところ**に 置いていませんか	
❸	**不安定な場所**に置いたり、 **不安定な置きかた**をしていませんか	
❹	電源コードが**物（椅子、机、台など）の下敷き** になっていませんか	**電源コードとプラグ**
❺	**たこ足配線**をしていませんか	
1	電源コードを動かしたとき、 **電源が入ったり切れたり**しませんか	
2	電源コードが窮屈に**折れ曲がったり**、 **キズがついたり**していませんか	
3	電源コードやプラグが**異常な熱**を持っていませんか	
4	**異常な熱や煙**が発生したり **変な臭いや音**（パチパチ）がしませんか	**液晶ディスプレイ本体**
5	電源を入れても **画像や音が出ない**ことがありませんか	
6	**画像や音が途切れたり、乱れたり**しませんか	
7	**通風孔から水や異物**（紙・虫・クリップ・ピンなど）が入った形跡がありませんか	
8	**故障状態のまま**使用していませんか	

	点検結果　年／月　○良い　×悪い					処置手順
❸						×印の項目があるとき ↓ そのままお使いになりますと故障や事故の原因になることがあります。 正しく安全な設置場所や設置方法に必ず改善してください。
3						1つでも×印があるとき ↓ **すぐに電源プラグを抜いて使用を中止してください。** ↓ お買い上げ店、またはソニーご相談窓口にご相談ください。
6						

その他

ソニーご相談窓口のご案内

ソニー製品の使い方相談、修理相談、お買い物相談については下記の窓口またはお買い上げの販売店をご利用ください。
なお、修理をご依頼される際は、「取扱説明書」に記載の「故障とお考えになる前に」または「故障かな？」などを一度ご覧になり故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名　②お買い上げ日　③故障症状を具体的にご連絡ください。

【ソニー製品の使い方・修理・お買い物に関するお問い合わせ】

ホームページ

ソニードライブ　**http://www.sony.co.jp/SonyDrive/**

ソニードライブは、ソニー製品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。

製品のサポート情報やお問い合わせは次のホームページでもご覧いただけます。

http://www.sony.co.jp/support

お電話

使い方相談窓口	修理相談窓口	買い物相談窓口
フリーダイヤル：0120－333－020 携帯電話・PHS・一部のIP電話：0466－31－2511	フリーダイヤル：0120－222－330 携帯電話・PHS・一部のIP電話：0466－31－2531 ※取扱説明書、リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	フリーダイヤル：0120－777－886 携帯電話・PHS・一部のIP電話：0466－31－2546

受付時間　月～金：9:00～20:00　土・日・祝：9:00～17:00
FAX（共通）　0120－333－389

If you would like to make an inquiry in English about Sony products or Sony Corporation, please contact the following:
【Customer Information Center Japan】
〈TEL〉
FreeDial 0120-000-488
The number you can call from your cellular phone or PHS or IP phone is following : 0466-31-2561
Business hours : Mon.- Fri. 9:00-20:00　Sat. Sun. & Public holidays 9:00-17:00
〈Web Site〉
http://www.sony.net/SonyInfo/Support/Feedback/index.html
We may not be able to respond directly to the customers outside of Japan.
Customers living outside of Japan, please contact Sony office in your own country.
If you need more information of your contact, please access the URL above.

【出張修理受付窓口】

大型テレビなどの一部製品につきましては、出張修理を受け付けております。
出張修理は、上記の「修理相談窓口」へご相談くださるようお願いいたします。

【持込修理受付窓口】

お買い上げの販売店以外でも、「ソニーサービスステーション」と「ソニー修理受付認定店」で、持込修理の受け付けや付属品・部品のお取り寄せを承っております。
「ソニー修理受付認定店」につきましては、「修理相談窓口」（フリーダイヤル 0120-222-330）へお問い合わせいただくか、ソニーマーケティング株式会社のホームページhttp://www.sony.co.jp/supportでもご案内しておりますのでご利用ください。

●下記の「ソニーサービスステーション」に関する記載内容は、予告なく変わる事がございますので、予めご了承ください。
持込修理受付窓口の最新情報につきましては上記のホームページでご確認いただけます。

SS：サービスステーション　〈2007年10月現在〉

地域	名称	電話番号	〒	所在地
北海道	SS 札幌	011-862-4486	003-0027	札幌市白石区本通21丁目北1-14
東北	SS 仙台中央	022-292-1631	983-0852	仙台市宮城野区榴岡2-5-30 ソニー仙台第2ビル1F
関東甲信越	SS 新潟	025-274-9178	950-0867	新潟市竹尾卸新町752-11
	SS 大宮	048-653-6900	331-0812	さいたま市北区宮原町1-202
	SS 品川	03-6748-3990	108-0075	港区港南1-7-1 1F
	SS 秋葉原	03-5818-0521	110-0005	台東区上野3-1-2 秋葉原新高第一生命ビル1F
	SS 横浜	045-231-6968	220-0022	横浜市西区花咲町5-137 ソニー横浜ビル1F
中部北陸	SS 名古屋	052-205-6860	460-0008	名古屋市中区栄1-23-10 ソニー名古屋ビル1F
	SS 静岡	054-282-6874	422-8052	静岡市駿河区緑が丘町1-20
	SS 北陸	076-249-8661	920-0362	金沢市古府2-74
関西	SS 日本橋	06-6643-1501	556-0011	大阪市浪速区難波中1-13-17 ナンバ辻本ニッセイビル1F
	SS 京都	075-661-5040	601-8121	京都市南区上鳥羽大物町8 SFI京都ビル1F
中四国	SS 広島	082-545-4611	730-0811	広島市中区中島町2-21 SFI広島ビル1F
	SS 岡山	086-264-0934	702-8032	岡山市福富中1-1-15
	SS 高松	087-851-7297	760-0066	高松市福岡町4-5-1 ソニー高松ビル1F
九州	SS 福岡中央	092-781-6682	810-0072	福岡市中央区長浜1-4-13 ソニー福岡第二ビル1F
	SS 那覇	098-877-0323	901-2122	浦添市勢理客4-17-15